

日野振興 センター だより

hino

Hino Advancement Center だより

平成 27 年 12 月発行 no. 11

menu

ぶらっと奥日野モニターツアーで魅力発信!!

日野郡の観光商品売れる化プロジェクト

森林の恩恵に感謝して 水源かん養林で森林整備体験

第2回平成のふいご祭 in 日南町印賀

冬も頑張る農林業

山仕事は初心に戻って! 伐採時の労働災害発生を防ごう

今こそ農林水産業に女性の力を

日南トマト 新品種“りんか 409”で生産量アップ

鳥インフルエンザを知ろう

平成 28 年度 河川・道路愛護ボランティア募集

新嘗祭に日野郡のお米が献穀されました

優秀農林水産業者 日野から6者が表彰

明地峠×雲海
(関連記事 P2)

新嘗祭に日野郡のお米が献穀されました



皇居参入前の松本さんご夫妻

11月23日(勤労感謝の日)に宮中で行われた新嘗祭に、今年も鳥取県の代表として日野町の松本洋一さんが奉仕し育てられたお米が献上されました。

新嘗祭は、天皇陛下自らその年の豊かな収穫に感謝し、新穀を天地の神々に捧げられるとともに、農家の労をねぎらい、来たるべき年の豊作を祈願される行事です。

献上米は、日野町別所の堀八幡宮前の水田のうち2アールを斎田として、5月19日に田植をされました。7月には台風11号が県西部を縦断し被害が危惧された中、大きな被害もなく無事9月16日に抜穂式(稲刈)が執り行われました。刈り取られた稲穂は、はで干による乾燥の後、調製を経て、10月28日に松本洋一さん智津子さんご夫婦と日野町の山口副町長が皇居へ参入し、納められました。

今後の行事としては、献穀されたお米の種子は代々次の奉仕者へ引き継ぐこととなっているため、来年度奉仕される八頭郡(予定)の農家さんへ引渡式が行われることになっています。

また、次に日野郡で新嘗祭の献穀が取り組まれるのは5年後の予定です。

問 | 日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2005 FAX:0859-72-2011

優秀農林水産業者 日野から6者が表彰



知事公邸での記念撮影

10月26日(月)に鳥取市の知事公邸にて、平成27年度の鳥取県優秀経営農林水産業者等の表彰式が執り行われました。

この表彰は、鳥取県における農林水産業の発展並びに、その技術及び経営改善の意欲の高揚を図るため、経営が特に優秀と認められる優秀農林水産業者などの6部門について、知事から表彰されるものです。

今年もこの栄誉が続くよう、日野郡からは6経営体の皆さんが表彰されました。

今後この栄誉が続くよう、日野郡の農業者を支援していきたいと思っております。

日野郡の表彰者

- 優秀経営農林水産業者
農事組合法人エコファーム
HOSOYA(日南町茶屋)
- 農林水産業功労者
大下 宏(日野町舟場)
松本 勝美(日野町本郷)
- 未来を担う青年農林水産業者
吉川 徹(日南町笠木)
常見 祐二(日南町笠木)
- いきいき農林水産業組織
菅福元気邑(日野町上菅)

問 | 日野振興局 農業振興室 電話:0859-72-2005 FAX:0859-72-2011

森林の恩恵に感謝して 水源かん養林で森林整備体験



日野川の源流と流域を守る会は、日野川上流域(日南)と下流域(境港・米子)にお住まいの方たちの交流を深めるため、11月8日(日)にスギ・ヒノキの間伐が必要な日南町宝谷の森林整備とヤマツツジ20本の記念植樹を行いました。

同時に、同日開催のふいご祭りに参加し、境港の発展に大きく貢献した「たたら」文化を通して、森と海のつながりについて学習しました。

当日は、あいにくの天候でしたが、お昼には大宮地域振興センターが作ってくださった、おこわやきのこ汁を皆でおいしく



日野郡の観光商品 売れる化プロジェクト

～たくさんの観光客を呼び込むために地域の有志が一丸に～

日野郡広域交流促進協議会の企画ワーキンググループと地域の有志(飲食・宿泊業者、農林業者、観光関係者、地域おこし協力隊など)26人は、宿泊予約サイトで有名なじゃらん((株)リクルートホールディングスじゃらんリサーチセンター)及び県観光連盟と連携して、5月から1回のミーティングを行い、地域資源を活かした観光商品の開発に一丸となって取り組んでいます。

ミーティングでは、日野郡の売りとなる地域資源と新しい観光テーマを絞り込み、22個の地域資源と9個の観光テーマについて、その認知度や興味度をインターネット市場で調査しました。その結果、認知度は40%未満と低いものの79%もの高い興味を持たれた地域資源もあり、これから磨けば輝く素材があふれていることが判明。

そこで当協議会では3年後を目途に、3町共通のグルメ開発と認知度向上のための広報活動・販促ルート開発を進めていきます。

インターネット市場調査の結果

※関東・中京・近畿・中四国の全国4ブロック16都府県に住む20歳以上男女1,040人を対象にアンケート調査。

地域資源に関する興味度

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 明地峠の雲海(表紙写真) | 6 金持神社 |
| 2 手打ちそば | 7 サントリー天然水 |
| 3 ブルーベリーファーム | 8 農家レストランのイタリアン |
| 4 鍵掛峠・貝田・御机から眺む大山 | 9 古民家宿泊・自然体験 |
| 5 ヒメボタル・ゲンジボタル | 10 ちゃんぽん麺 |

新たな観光テーマに関する興味度

- | |
|-----------------------|
| 1 奥日野きのこコンフィバーガー移動販売車 |
| 2 奥日野「洋食ランチ」 |
| 3 奥日野「和食ランチ」 |
| 4 奥日野キノコツーリズム |
| 5 日野郡こだわりお土産 |



ぶらっと奥日野モニター ツアーで魅力発信!!

～地域の認知度向上とリピーターの来訪を目指します～

日野郡広域交流促進協議会では、県外の旅行会社と連携して、岡山県からお越しいただいたお客様に、日野郡の魅力をまるごと味わっていただくモニターツアーを今年度3回実施しました。

ツアー催行日は天候に恵まれ、日野郡が誇る自然や景観をベストな状態で観賞することができ、参加者の満足度もアップしました。また、参加者からは「生産者を訪ねた農場見学での試食や収穫体験が楽しかった」「地元ガイドとしか行けない穴場スポットや情報を聞いて良かった」などの声がありました。

今回は3回とも参加された方もいて、確実に日野郡ファンが増加しているのを感じました。

第1回 ホタル舞う日南福万来幻想風景 ～ヒメとゲンジの大饗宴～

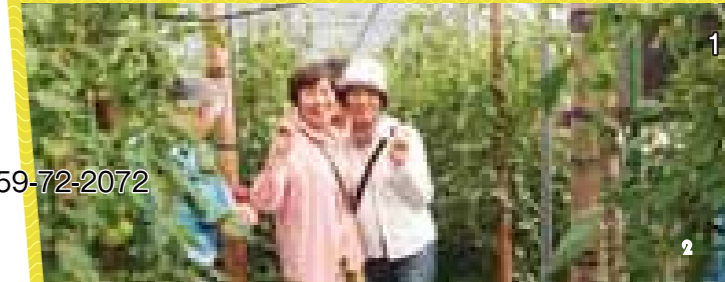
7月11日(土) 参加者29人
コース 道の駅奥大山⇒榎さんちのトマト農場見学(写真1)⇒井上靖記念館(写真2)⇒ふるさと日南邑(夕食)⇒福万来ホテル観賞(写真3)

第2回 旬の「ノドグロ」と「紅葉」写になる町 奥大山江府町の旅

10月31日(土) 参加者24人
コース 鬼女台・鍵掛峠・茅葺小屋(紅葉観賞)(写真4)⇒休暇村奥大山(昼食)(写真5)⇒道の駅奥大山⇒中尾さんちの原木シイタケ収穫体験(写真6)⇒金持神社参拝(写真7)

第3回 早起きは三文の徳! 明地峠の雲海とオシドリ見学

12月5日(土) 参加者11人
コース 明地峠(雲海)⇒オシドリ観察⇒うどんやどんぐり COROCORO(朝食)⇒道の駅奥大山⇒ねうぶら⇒金持神社参拝⇒リバーサイドひの(昼食)



森林 × たたら



昨年、約90年ぶりに伯耆国たたら顕彰会によって復活された「ふいご祭」。第2回目となる今年度は、11月8日(日)にたたら製鉄で栄えた日南町印賀で開催されました。

ふいご祭とは、金屋子神(かなやごじん)を祭り、ふいごを清めて精進を誓う伝統行事です。

祭りでは、砂鉄投入体験、現在人気上昇中のたたらにちなんだ民謡「印賀たたら唄」の熱唱、たたら紙芝居第3作目「伯耆国の流通革命」のお披露目など、たたらに関する多彩な催しが開催され、多くの来場者で賑わいました。

約6時間操業したミニたたらでは、4.9kgものりっぱな鋳がで会場は大喜びでした。

今年は、鋳の重量当てクイズも実施され、参加者は砂鉄からどれくらいのアリがでるか大いに関心を持っていました。

第2回平成のふいご祭 in 日南町印賀

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2082 FAX:0859-72-2072

山仕事は 初心に返って！



労働災害発生防止研修会 9/24(木)

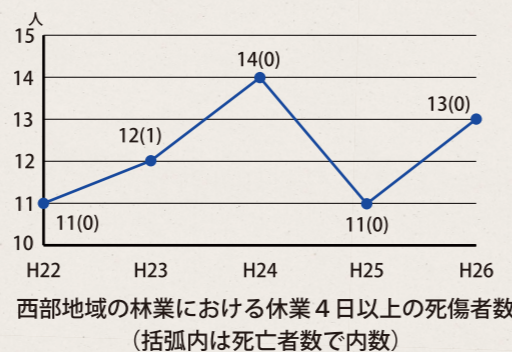
伐採時の労働災害発生を防ごう

日野郡内で8月から立て続けに2件の死亡事故が発生したことを受け、9月24日に米子労働基準監督署と林業・木材製造業労働災害防止協会から講師を招いて、伐採作業に携わる方を対象にした研修会を開催しました。

当日は県西部地域から85名の参加があり、全体研修と班別ミーティングで防災の意識を高めました。

全体研修の概要

- 西部地域では過去3年間、死亡事故は無かったが、捻挫や骨折等は毎年10件以上発生。
- 林業労働災害は初心者（技術不足など）とベテラン（油断）の割合が高い。
- 防災は、基本的な手順を守ることが重要。
- 労働災害は、被災者の被害に加え、企業や他の従業員に刑事責任や賠償が発生することがある。労働者は自分の身だけでなく周囲に影響が及ぶことを、企業は様々な不利益事項が発生することを再認識して、防災に向けた活動に取り組んで欲しい。



班別ミーティングの概要

参加者同士でヒヤリハット体験を話し合い、次のような状況の時に気をつけるよう確認しました。

経験が不足する作業を行うとき
気持ちに余裕が無いとき
ポーンとしているとき
難しい作業のとき

林業関係者の皆様 ご活用ください

とっとり森林緊急通報カード

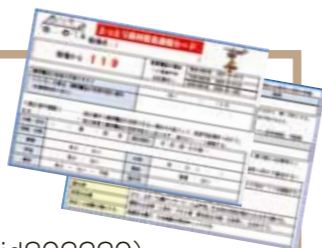
県が労働災害発生時に被災者の早期救助と被害軽減を図るため、救援隊をできるだけ早く被災現場に呼び取り組みとして考案しました。

(記入例等⇒ <http://www.pref.tottori.lg.jp/item/997663.htm#moduleid302220>)

林業・木材製造業労働災害防止規程

労働災害防止のために、作業時の服装や各作業の遵守事項等を定めている規則です。

(全文⇒ http://www.rinsaibou.or.jp/cont02/02_frm_c.html?items02/0202_01_idx.html)



まきストーブで ハウス早春加温



園芸試験場
日南試験地
(標高 550m)
で、内張りを
設けたハウス
内にトマトを

慣行より約1ヶ月早い4月中旬に定植し、5月中旬までストーブで夜間加温する栽培試験を行いました。その結果、生育、着果とも良好で6月下旬から収穫が可能となりました。

ストーブ近傍では土壌乾燥によるものと思われる尻腐れ果の発生が若干ありましたが、低温障害は見られず、7月上旬までに6t/10aの収量が得られました。

本年度、日野郡内では4戸の農家がまきストーブを導入予定であり、新たな活用法が生まれることを期待しています。



農閑期を利用した6次産業 トマトジュースの加工品製造



農閑期を利用して、日南トマト加工株式会社（日南町霞）はトマトのシーズン中に一次加工しておいたトマトジュースを材料に、ケチャップや焼き肉のたれなどに更に加工する作業が行われます。

大手メーカーの商品は機械で自動生産されますが、ここでは完全ハンドメイドで製造されます。また、冬場には、米子市内の契約農家の人参を仕入れ人参ジュースも製造していて、農閑期でも大忙しです。

一年を通して働くことができる雇用の場になっています。



冬はしいたけ ビニールウスを活用した栽培



増田雅広さんは、平成24年度の原木しいたけ新規生産者講座を受講され、

日南町でしいたけ栽培を始められました。

春から秋にかけては（株）増田林業の社長として林業に熱心に取り組み、冬場にはしいたけ生産者としてビニールハウス内でしいたけ栽培をされています。

生しいたけと干しいたけをスーパーマーケットで販売されており、美味しい原木しいたけで冬場の食卓を賑わせるよう取り組まれています。

現在、鳥取県がブランド化を進めている115号菌を植菌され、自前の木製ビニールハウスにしいたけほだ木を入れて栽培されており、良質のしいたけを早く沢山作る工夫をされています。

林業会社という一面を有する一方、しいたけ栽培にも熱心に取り組まれ、年間を通じて技術研鑽の日々です。



冬こそ鳥獣対策が大事 エサになる食物を捨てないで

意外に思われるかもしれませんが、冬場の対策こそが鳥獣被害を減らすための重要なポイントです。

どのような対策を行うかと言うと、ワイヤーメッシュ柵や電気柵などで集落へ入ってこないようにするのではなく、冬場の餌になるものを無くして、イノシシにとって魅力の無い集落にすることです。具体的には、家庭で発生した生ゴミを写真のように田んぼや畑などに捨てず、コンポスターを利用するとよいでしょう。



冬も頑張る農林業

日野郡では、雪に負けない農業・林業を進めるため様々な取り組みが行われており、その一例を紹介いたします。

鳥インフルエンザを知ろう

鳥類がA型インフルエンザウイルスに感染することをまとめて鳥インフルエンザといいます。このうち高病原性の鳥インフルエンザウイルスにニワトリなどの家きんが感染すると、その多くが死亡してしまいます。

●鳥への感染について

鳥同士の接触によって鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性があるため、鳥を飼っている方は、飼っている鳥が野鳥と接触しないようにしましょう。

また、野鳥の糞が靴の裏や車両に付くことによって、鳥インフルエンザウイルスが他の地域へ運ばれるおそれがあるので、野鳥に近づきすぎないようにしてください。特に、糞を踏まないよう十分注意して、必要に応じて消毒を行ってください。

●人への感染について

日常生活において野鳥など野生動物の排泄物等に触れた場合は、手洗い・うがいをいただければ、過度に心配する必要はありません。

●死亡野鳥をみかけたら

鳥も様々な原因で死ぬので、死んだ野鳥が必ずしも鳥インフルエンザウイルスに感染しているわけではありません。外傷がないなど原因不明の野鳥の死体が連続で発見される場合は、西部総合事務所または各役場にお問い合わせください。

問 | 日野振興局 中山間地域振興担当 電話 :0859-72-2081 FAX:0859-72-2072
西部総合事務所生活環境局 生活安全課 電話 :0859-31-9628 FAX:0859-31-9333

今こそ農林水産業に女性の力を

農林水産業の経営向上、産地の発展には女性の力が不可欠です。今年度、県では「今こそ農林水産業に女性の力を！自主参画推進事業」を創設し、女性の活躍を後押しする取組みを行っています。

日野農業改良普及所は、郡内において農業でがんばる若い女性に集まっていたいただき、11月24日（火）に研修会兼交流会を開催しました。

研修会は、事例発表者として指導農業士の松原佐喜恵さん（西伯郡伯耆町）を招き、「儲かる農業を目指して！」と題し、儲かる農業を目指して実践されてきた農業のやり方や考え方について話を伺い、意見交換を行いました。またアメダス茶屋のイタリアンシェフ坪倉完洋さんに、ひ



指導農業士と参加者で意見交換

と手間でワンランク上の料理になるシェフの技を教えていただきました。

交流会では、子育てと農業の両立などの悩みや農業経営をする上で普段考えていることを意見交換しました。事例発表者の松原さんは、「農業は自分次第でいかようにもなる職業。気持ちの持ち方と行動力で変わることができる」と力強くアドバイスされました。

参加者の感想は、「前向きな考え方が学べ参考になった」「話をしてストレス発散になった」などでした。また、このような研修会の機会を求め声が多かったです。

今、女性の「担い手」としての活躍がますます期待されています。日野郡の農林業において女性がより一層元気になり、存在感が高まるのが大切だと思います。普及所では今後も、各人が目指す農業経営に近づくための研修会など“場づくり”をしていこうと考えています。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話 :0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

平成28年度 河川・道路愛護ボランティア募集

鳥取県では、県が管理している道路、河川等の環境美化や維持管理に積極的に参画していただける住民団体を募集し、その活動に対して支援を行っています。

地域の河川や道路の環境美化・維持管理に皆さんの力をお貸しください。活動を始める前に、まずはボランティア団体登録が必要です。詳しくは、日野県土整備局維持管理課までお問い合わせください。



<活動内容> ・道路の清掃、除草又は植栽管理若しくは歩道除雪
・河川の清掃、除草又は植栽管理 ・公園の整地、清掃、除草又は植栽管理

参画型ボランティア促進事業	協働型ボランティア促進事業	スーパーボランティア支援事業
自主的な環境美化（清掃・除草）を行う団体に対し、活動の実施に必要な援助を行います。	一定区間の維持管理（除草・植栽管理・除雪等）を行う団体の活動を支援します。	公園、河川敷等を活用した地域づくりや賑わい創出の活動と併せて適切な維持管理を継続して行う団体の活動を支援します。
規模…任意 奨励金…参加者 100円/人・時間 草刈機等 100円/台・時間 (上限10万円/年)	規模…道路 0.5km以上 河川 0.2ha以上 植栽柵 50㎡以上 交付金…河川・道路・公園等 40円/㎡ 植栽柵 500円/㎡ 歩道除雪 10円/m (上限40万円/年。ただし、歩道除雪は10万円/年)	規模…活用する公共空間の範囲 交付金…河川・道路・公園等 40円/㎡ 植栽柵 500円/㎡ (上限60万円/年) 簡易施設設置交付金… 施設設置の原材料費等の額 (1団体につき50万円まで)

問 | 日野県土整備局 維持管理課 電話 :0859-72-2046 FAX:0859-72-2092

日南トマト 新品種“りんか409”で生産量アップ

日南町では、長らく桃太郎シリーズのトマトを栽培していましたが、夏場の裂果、着果不良が生産現場での大きな課題でした。そこで、昨年新たに誕生したJA日南トマト生産部青年部会から「試験地や他産地で実績の上がっている品種の“りんか409”を栽培し、実際に儲かることを確かめたい！」という声が上がったのを契機に、検討が重ねられ、今年から生産部栽培面積の約6割という規模で導入されることになりました。

11月13日時点で、出荷量は95,660ケースで対前年比114%となっています。実際にりんか409を導入した生産者からは、「着果が良い裂果も少ない」「規格外で捨てるトマトが減った」「15年以上栽培して初めて反収10tが達成できた」「味もおいしい」「来年は全部りんか409に変えたい」といった喜びの声が続々と届いています。

生産部に導入を提案した青年部長の岩田真也さんも、初めての挑戦で不安だったようですが、この結果に喜びを噛みしめておられます。

今年、日南トマトは地域団体商標の取得や作付ハウスの拡大と勢いづいています。日野振興センターも、引き続き日南トマトの振興を支援したいと思っています。



トマトの管理をする岩田青年部長

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話 :0859-72-2026 FAX:0859-72-2090